

第58期特別体育課程 自衛官アスリート入校式



学校長に申告する学生（代表：岡1尉）

東京五輪でメダルを目標に 決意新たに 新規採用25名を迎え総勢164名の学生

自衛隊体育学校は4月13日、朝霞駐屯地において第58期特別体育課程（夏季種目）の入校式を挙

行した。式は、第17代学校長三宅義信氏をはじめ多数の来賓を迎え、学生家族らが見守る中、厳粛に執り行

われた。今期の入校学生は、第57期から引き続き入校する学生が139名、昨年の集合訓練を勝ち抜き選抜さ

れた9名、体育特殊技能者16名で総勢164名。入校学生は一人ひとり名前を呼ばれ紹介された後、代表のレスリング班岡太一1等陸尉の号令で力

強く申告し、決意を新たにした。谷村博志学校長は学生らに対し「学生諸官に与えられた最大の使命は東京オリンピックでメダルを獲得すること。そのためには、メダリストになるのだという高い志をもち、努力を惜まず、感謝の気持ちを忘れず、全力で日々の訓練に取り組んで世界の頂点をつかんでもらいたい。」と式辞を述べた。また、第17代学校長で東京1964五輪金メダリストの三宅義信氏から「勝つためには積み重ねが重要だ。練習は君たちを裏切らない。黙々と努力を重ね、東京五輪での栄冠を勝ち取り体育学校をしつかりと支えてもらいたい。」選手への熱い激励の言葉が贈られた。



学生に祝辞を述べる第17代学校長 三宅義信氏



新規採用の体育特殊技能者による決意表明

引き続き行われた祝賀会食では、駆けつけた衆議院議員保坂泰氏が「入校おめでとうございます。皆さんは国民の希望と憧れを背負って日本の代表として戦う選手として選ばれ、体育学校に入校されたと思います。東京五輪で活躍され、日本を元気にしていただきたい。頑張ってください。」とエールを贈った。また、ロンドン五輪金メダリストで現レスリングコーチの小原日登美3等陸佐が、新規採用者に対し激励の言葉を贈った。「今、数年前の自分を思い出しました。私のモットーは、**練習は試合のように。試合は練習のように。**です。これから一緒に練習に励み、勝利をつかみましよう！」との熱いメッセージに新規採用者らは目を輝かせた。新規採用者を代表して森脇唯人3等陸曹（ボクシング班）が東京五輪に向けた決意を表明し、五輪での活躍を誓った。

射撃訓練場完成 落成式盛大に

57年ぶりにリニューアル

4月19日、朝霞訓練場の射撃訓練場が57年ぶりに生まれ変わった。これまでの射撃訓練場が建設されたのは昭和37年。前回の東京五輪直前に完成し、五輪競技が行われた施設だ。以降自衛隊体育学校の選手らが練習に励み、多くのオリンピック出場選手を輩出してきたが、今年取り壊され、約57年間使用された”道場”はその役割を終え幕を閉じた。

新射撃訓練場は、射座・的ともに照明を自在にコントロール可能な射場を有する国内唯一の、国際競技基準にも適合する射場だ。

落成式でテープカットが行われた後、来賓者に対する内覧会、射撃競技の展示などを行った。展示は競技会形式で行われ、勝者には朝霞市のキャラクター『ぽぽたん』が贈られた。

その後行われた昼食会では、日本ライフル射撃協会会長をはじめとする来賓と射撃班の選手らが意見を交わし新しい訓練場の落成を祝った。



競技会形式で行われた競技の展示

勝者には關野朝霞市副市長から賞品の”ぽぽたん”が贈られた。左からライフル射撃（松本1尉、清水3尉）、關野朝霞市副市長、ピストル射撃（武内3曹、山田3曹、金坂3曹）

